

上海灯蛾

上田早夕里

成功を夢見て上海に渡ってきた

日本人の青年・吾郷次郎は、

原田ユキエと名乗る

謎めいた女から極上の阿片と

芥子の種を預かる。

次郎は上海を支配する

青帮^{チヤウバン}に渡りをつけるが、

これを機に裏社会に深く
踏み入っていく。

向かう先は栄光か、破滅か。

夜に生きる男たちを

描いた上海ピカレスク。

1934年上海。極上の阿片を武器に
「魔都」を駆け上がる日本人の男

直木賞候補作『破滅の王』の著者が放つ
圧巻の歴史エンターテインメント小説!